

埼玉大学 重原孝臣 様

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

先般の嘆願書において申し上げました通り、テニスコート周辺環境の整備は、学生の安全確保

および教育環境の向上に関わる重要な課題であります。当会といたしましては、大学と協力し

ながら、継続的かつ実現可能な管理体制を整えることが何より重要であると考えております。

つきましては、建設的な解決に資する提案を別紙の通り取りまとめましたので、ご検討賜れま

したら幸いに存じます。

敬具

令和8年1月10日

埼玉大学硬式庭球部OB会 鹿島台クラブ 会長 栗原英男

## 提案 1

以下に述べる提案事項に関し、予算の問題や大学側の既定の計画もあろうかと思います。当会と大学側の協議を行う窓口を設定して下さい。窓口部署との協議を通じ改善して行きたいと考えております。

## 提案 2：伐採樹木の処理について近隣のゴミ処理施設を使用可能にする

これは弊会によるボランティア活動中に気づいた事ですが、草刈りや低木の剪定や伐採を行った際に発生する枝葉のゴミの処理方法が定められていません。大学の構内には伐採を行った樹木があちこちに置かれています。

現状では大学構内に粗大ゴミは捨てられないルールになっている為、弊会のボランティア活動への参加者がその自治体に持ち帰り廃棄処理をしていますが、さいたま市内で発生したゴミである証明を大学側でして頂ければ大学の近隣のゴミ処理施設である「桜環境センター」での処理が可能となり、清掃作業の効率が格段にアップします。

## 提案 3：直近で出来る具体的な施策

南側コートと北側コートの間の通路部の樹木はテニスコート設置時に植樹されたもので、月日の経過とともにその殆どが枯れています。これらの樹木は雑草の刈り取り作業の妨げとなり倒木の危険もあるので伐採、伐根の後に整地するのが妥当と考えます。

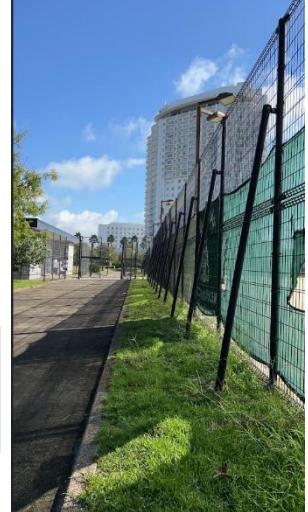


次ページ写真左は、当該部分の現況を示します。草の刈り取り後2週間経ちますが、暫定対策として設置した防草シートを張っていない場所には雑草が成長しています。

毎シーズン業者に依頼して草刈りを行うのは費用と時間の浪費ですしストボールの回収や別の種類の雑草が生育してしまう温床となります。上右の写真の様に樹木の伐採整地部分に芝生を植えるのが景観的にも望ましいと思います。



埼玉大学のテニスコート  
(草刈り直後)



他校のテニスコート  
(平常時)

以降の提案については、窓口部署との協議を開始した後に行おうと考えております。

ご検討の程宜しくお願ひいたします。